

# 議 事 録

会 議 名	令和5年第4回春日井警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和5年12月7日（木） 午後4時から午後5時30分までの間 ----- 春日井警察署 講堂
出 席 者	<p>1 委員  長谷川 透 会長      佐藤 裕史 副会長  物部 由佳 委員      ヘルタイグラム 委員      堀 由美子 委員  西尾 尚 委員      椿本 剛志 委員      高橋 克弥 委員  川村 朱美 委員      佐藤 幸子 委員  以上10名（定数15名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員  佐々木署長      熊澤副署長      市野警務課長  伊藤会計課長      大西地域課長      鶴見刑事課長  坂野交通課長      齊藤警備課長  以上8名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等  なし</p>
諮 問 事 項 等	高齢者に対する交通事故防止対策
答 申 等 の 概 要	1 反射材とヘルメットの有効性の周知 2 早めのライト点灯の周知 3 高齢者の特性に合わせた啓発活動の推進
そ の 他	次回開催未定

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶等
	(1) 犯罪発生情勢
	(2) 交通事故発生状況
3	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	住民に身近な存在である地域警察に望むこと
	(2) 答申事項
	ア 地域住民とのつながりの再構築
	イ 地域住民に安心感を与えるパトロール活動の推進
	(3) 推進施策（地域課長説明）
	ア 答申事項アについて
	(ア) 巡回連絡による情報発信及び要望等把握
	(イ) 地域が主催する会合への出席
	(ウ) 交番・駐在所連絡協議会の開催
	イ 答申事項イについて
	(ア) 地域住民の身近に発生する事案等に対する警戒活動の実施
	(イ) パトロールカーによる赤色灯常時点灯パトロールの実施
	(ウ) 問題解決運動の実施
4	諮問
	(1) 諮問事項
	高齢者に対する交通事故防止対策
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(2) 諮問事項の設定理由 (交通課長説明)	
今年の春日井市内の交通事故発生状況については、9月末現在、死亡事故は1件で昨年よりも減少しているが、人身事故件数及び死傷者数は、昨年よりも増加している。	
今年発生した死亡事故については、高齢者が道路横断中に被害に遭っており、他の重大な交通事故についても高齢者の道路横断中や自転車乗車中に発生している。	
このような状況において、重大な交通事故を抑止するには、高齢者に対する交通事故防止対策が重要と考えたため。	
5 協議	
委員	・ 歩行者、自転車、自動車、それぞれの立場で考えることが大切で、夜間、狭い道路でも高速で走行する車両が散見されることから、歩行者としては鞆等持ち物に反射材を付けることが必要だと思う。
委員	・ 高齢者のみならず多くの人に、反射材が必要であることを知ってもらう必要がある。
	・ 反射材について、車の運転手目線での必要性を訴えかけるような映像があると分かりやすいと思う。
委員	・ 高齢者がセーフティ・サポートカーに乗換えられるような補助金制度を確立する必要がある。
	・ 横断歩道が少なく、横断歩道を渡らない人が多いように感じる。横断歩道を渡る際には、手を挙げて渡るようにするなど少しでも自動車の運転者に分かるようにすることが効果的である。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 反射材を身に付けよう、という気持ちを醸成することが大切である。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年数回行われる交通安全運動期間は、ヘルメット着用をアピールする良い機会である。大型商業施設におけるイベントでの広報は特に効果的である。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行者側として、反射材付きの運動着を着用するなど、自分の存在を自動車の運転手に分かりやすくすることが必要である。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車を運転する立場として、早めの前照灯点灯、自動車運転免許証の返納、セーフティ・サポートカーへの乗換え等考えていく必要がある。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飼い犬を連れて歩きながらパトロールする際に反射材を利用している。様々な機会を捉えて、ヘルメットや反射材の必要性を呼び掛けることが大切である。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分自身が自動車を運転していて、テレビを見ながら運転している運転手が多いように感じる。とても危険ではないかと思う。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 反射材は、歩行者が身に付けることが有効であるが、自転車の反射材も必要性を感じる。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車運転免許証の更新時の講習で高齢者の特性について教養することが必要ではないかと思う。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車利用時にヘルメットが必要であることは当然だが、自転車の側面からでも反射するような反射材が必要だと思う。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早朝の暗い時間に散歩をしている高齢者を見ることがある。昼間</li> </ul>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
の明るい時間に散歩することを呼び掛ける必要がある。	
委員	・ 暗くなりかけたころ、無灯火の自動車が多いように感じる。早めの前照灯点灯を広報する必要がある。
委員	・ 人生100年時代と言われている。自動車運転免許証の早期返納も必要だが、高齢者でも自動車を運転しやすいようなあらゆる環境を整えていく必要がある。
委員	・ 若者は高齢者の特性を理解しつつ、高齢者は自らの衰えを認識しながら自動車を運転することが大切である。
6 答申	
(1) 反射材とヘルメットの有効性の周知	
(2) 早めのライト点灯の周知	
(3) 高齢者の特性に合わせた啓発活動の推進	
記録者	警務係長